

牧羊ひろば



川本教会 教会学校

●川本教会の現状

川本教会の教会学校は毎週日曜日の朝9時から45分間行います。30分間の礼拝の後、分級の時を持っています。現在のメンバーはクリスマスチャンホームの一族、3人が出席しています。中学2年生、小学6年生、2年生です。そのお母さんも独身の時からCS教師をしておられ、毎週子どもたちと一緒に来られます。教師は牧師とお母さん教師二人です。テキストは牧羊者を用いています。礼拝メッセージは交代でしていますが、昨年からはCS教師だけでなく、かつてCS教師をしておられた教会役員の方(三人)にも重荷を持っていたいただき、礼拝のメッセージをしていただくようにしました。人が変わってお話をすると新鮮な気持ちで聞いてくれて、時には子どもたちから拍手がおこります。クリスマスチャンホームの子どもたちなので、生まれた

時から教会の子どもとして皆さんから愛されて成長してきている子どもたちです。お話をされる先生も聞く子どもたちも程よい緊張感とワクワク感があって子どもたちの反応はとてもいいです。時には子どもたちのおばあちゃんや教師を励まして下さいます。

毎月の終わりには「おたのしみ会」を行っています。「おたのしみ会」のお話は聖書の紙芝居をしたり、聖書物語の絵本を読み聞かせした後、ゲームをして楽しみます。子どもたちが描いた魚釣りゲームやペットボトルでボーリングゲームやかごを吊り下げて玉入れゲームなど、毎回子どもたちが楽しめるように工夫をしながら準備します。その日はお菓子(その中身は150円くらい)のプレゼントがあります。

毎週休まないで来る子どもたちの励みになればと企画したのは4回続けて出席すると「がんばり賞」がもらえることにしています。クリスマスチャンホームの子どもたちです。毎週教会に来ることは当たり前なのですが、学校の行事や部活動など、成長とともに子どもながらも闘いがあると思います。そんな中から励んできてくれ

るので、ささやかなプチプレゼント（百均で購入したもの）をします。子どもたちの成長に合わせて興味のあるものなど選んでいます。買う人によっても好みや傾向があるので、二人で交代をして買い物をしています。



イースターエッグ作り

●年間の行事として

最近ではイースター礼拝とクリスマス礼拝は大人と合同でしています。昨年のイースターエッグ作りは前日の土曜日に「春のおたのしみ会」としてたこ焼きパーティーをしました。婦人会の助けをかりて、子どもたちが礼拝



イースターエッグの完成

をしている間に準備をしてもらい、そのあとでわいわいみんなでたこ焼きを焼いて食べます。焼きながら待つ間、いろんな会話がはずみます。食べることは大好きで特にたこ焼きパーティーは盛り上がります。大人も子どもも楽しんでいきます。お腹も十分満たされたあとで、イースターエッグを作りました。たまごにかわいい星のシールやハートのシールを貼って、カラーセロハンに包んでモールで締めて出来上がりです。イースター礼拝の後、会堂のあちこちらに隠してエッグハンターをして楽しみます。

花の日には花かごや手作りカードとグッドニュースをもって、警察署や郵便局、川本駅（来年の3月にはJR三江線は廃止になります）、消防署、施設に入所しておられる姉妹を訪問します。夏にはオープンチャーチをします。7月の最後の日曜日に夕方から教会の庭でそうめん流しをします。子どもの大人もご近所の方々も来て下さいます。そうめん流しの樋は孟宗竹を切って作ります。この樋は私の親戚の協力により準備してもらいます。このときはその家族も参加してくれれます。メインはそうめんですがミニトマトやぶどう、きゅうり、ミニゼリー、

ソーセイジなどいろいろなものが流れてきて流す人も食べる人も楽しさ倍増です。



そうめん流し

秋には大人の礼拝において子ども祝福式をしています。お話は最初に子ども中心にお話をします。紙芝居をするときもあります。一年間、神様に守られたことを一

一人の成長をみんなで喜び感謝します。

クリスマスは大人と一緒に礼拝をささげ、祝会もしょに行います。サンタの家族も登場します。昨年は大人と一緒に即興でしたが降誕劇をしました。覚えやすいように台詞を短くして、数回の練習でしたが楽しんでました。



サンタ

●洗礼式

昨年のクリスマスの日、祝会も終わった後に、教会の近くの江の川（一級河川）で小学2年生の男の子が洗礼を受けました。クリスマスチャンホムの三人兄弟の末っ子で彼だけがまだ洗礼を受けていなかったのです。昨年の



降誕劇

夏の終わりから秋にかけて、彼の礼拝を聞く姿勢が変わってきました。信仰がまっすぐ入っていくようで、イエス様に対する信頼が強くなっていました。質問をするときイエス様に直結している答えをしてくれて、聞いている教師も驚きでこんな風に答えてくれるようになったんだと感じました。洗礼の事を教師であるお母さんに確認してもらおうと受けるのは当然のように返事が返ってきただけです。洗礼準備会を2回行いました。ある先輩に聞いた手作りのカードを用いたり、イエス様のことばかりやすく見えるキューブを用いて学びをしました。最後の学びの時に、「洗礼を受けたいですか」と確認すると、「受けたいです」と答えがかえってきました。小学2年生の男の子がイエス様を信じる決心してくれた喜びは今でも私の心に響いています。彼の信仰の表れとして、12月の寒い時ではありますが、「浸礼と滴礼とどちらがいいですか」と聞くと「川でザブーンがいい」と言ったので、江の川で行うことにしました。その当日は山陰にしてはとても穏やかな午後で、教会員の見守るなかで感動の洗礼式でした。クリスマスチャンホームの子どもたちの信仰表明は時を逃してはいけないと思います。まだ幼い

から先でと思っているうちに、サタンに信仰の芽をついばまれてしまいます。彼の生活は洗礼を受けてから、学校での様子が変わってきました。けんかをしそうな変わった時、ぐつとがまんのできる子どもに成長しました。これからも信仰の闘いは多くあるでしょう。見守りながらも成長していきたいと願います。

「ヨハネの子シモンよ、あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか」。ペテロは言った、「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです」。イエスは彼に「わたしの小羊を養いなさい」と言われた。(ヨハネ21・15)

彼のお証をお載せします。

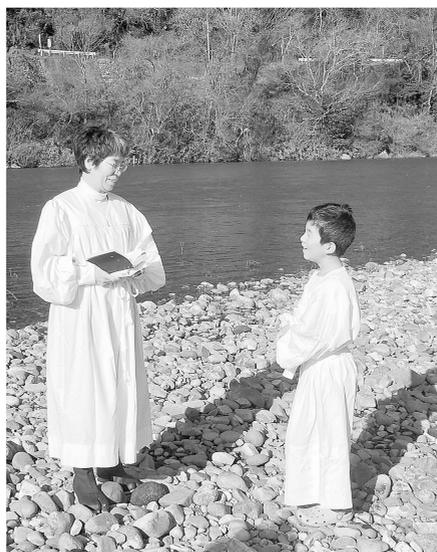
「あかし」

小学二年 川村真喜

ぼくは、12月25日、クリスマスに洗礼を受けました。

江の川でドボンと水に入って洗礼を受けました。イエス様をぼくは信じたからです。イエス様がいつもぼくを見守っているからうれいのです。

洗礼を受けてからけんかをしないようになりました。



洗礼式

イエス様が心の中でけんかをしたらダメと言って、それでぼくが自分からけんかをしたらダメと思います。それで友だちとなかよくしています。ぼくはずっとイエス様を信じて歩みたいです。

(大坪羊子)